

## 年長組



お弁当の時間、お茶をこぼした子がいたのですが、自分で雑巾を取りに行き行って片づけをしている姿を見て、すごいなと思いました。また、お弁当の後はハミガキ、外遊びの前にはトイレに行っておくなど、生活習慣も日々の生活の中で培われていることを改めて感じました。年長さんにもなると、こんなにも自立していくんですね。



木登りなどで遊んでいる時、危なっかしくて、つい「大丈夫？危ないよ」と言ってしまうことがありますが、みんな、あっという間に登っていて「見て見て～」と誇らしげでした。これも、慣れている遊びの一つで、大丈夫なこと、危ないことをちゃんと分かった上で、遊んでいるのだろうな。「危ないよ」と一言で、子どもたちの動きを止めてしまうので、見守ることも大事だと感じました。



年中さん時の保育参加に比べると、子ども同士の話し合い?!、コミュニケーションがとっても活発ですごいなあ～とびっくりしました。かけっこに入れてもらった時、まだまだやりたい！という子もいれば、不得意な子もいる中で、「スタートする場所を変えよう」と提案してくれる子がいて、それを聞いて、「もうイヤだ～」と言っていた子はすごく嬉しそうに「走る！」と。みんなでどうやったら遊びやすいか、みんなで遊ぶにはどうしたらいいのか？意見交換しながら考えあっている姿にさすが年長さん…と胸が熱くなりました。



トラブルが起こっても自分たちで解決しようとする姿や、年中の子にも配慮している場面も見られ、成長を感じました。個々の遊びよりも、集団での遊びが多いことにビックリしました。年少の時は「自分」が一番で周りの友だちのことはこの次といった雰囲気でしたが、年長にもなると、「自分」を大切にしつつも、周りの友だちの意見を取り入れたり、話し合ったりしている姿がとても印象的でした。



なわとびの部品を失くした時には、少し離れた場所にいた子どもたちが、何事か？と心配して集まってくれ、頼もしく心強かったです。広いグラウンドの土に紛れた小さな部品、見つかるの難しいかなと少し思っていたのですが、お友だちが見つめてくれて、私も娘も助けられました。先生に伝えに行ってくれた子どもいたようで、普段から子どもたち自身で解決しようとしていたり、先生の相談に行ったり、助け合っているんだなと感じました。



全体を通して年長さんは、本当にみんな、お兄さんお姉さんでした。一つのことに對しての集中力がすごかったです。編み物を真剣に作っていたり、将棋をずっとしていたり、工作、絵、いろいろなことを自分たちで考え、できないことは、先生に聞いたり手伝ってもらったり…。自分で考えて意見し行動することができ、本当にすごいと思いました。我が子のこんなにも真剣に取り組む姿には成長したなと感じました。



ピオトープも案内してくれて、エビやタニシ、メダカなど、子どもたちの発見する早さにもビックリ!! 木登りも去年に比べて、堂々としていて、すごく成長を感じました。自然の中を一緒に遊んで、心動く瞬間がたくさんあって…ここで遊び過ごす毎日は、きっと子どもたちの原体験として残っていくんだろうな、と思いました。



※年長組最後の保育参加、わが子の様子だけでなく、他の子やクラス全体のことまで気にかけて、成長を見つけてくださって、さすが年長組の保護者の方です。童心にかえっての時間。子どもからも、保護者の方からも、充実感いっぱいな空気が漂い、ほのぼのとあたたかい保育参加となりました。ありがとうございました。